

「ららのいた夏」を読んで

読もうと思った動機（書き出し）

大ふ家いび爽手い 自つ
 らく族るに快足た表然た本今年
 からのんあな。紙と。をの夏
 さんこだふ気私ポ、引き「走る」を取、私
 がでとろれ分はニそき、「走る」という私との共通点をもつららにな
 私い、うてに、こつにけらられた。の
 のつ友とい包五テにはら
 想た達いたま月一はら
 像。やう。れのルら
 をこ先疑ふた風にら
 か为生問と。の大の走
 き表のが、そよきな
 た紙こわ走のうな
 てかといり颯な瞳て
 るら。たな爽、い
 。伝ど。がと何する姿
 （略）わん恋ら走とらもりが描
 ら想こ考はえ伸か
 ら像とえ、なびれ
 のが、て喜いたて

自分の体験（主人公と重ねて）

くだてばし
 れつい、た私
 たたた陸。は
 。だ上、
 らろを、以
 らうやし前
 はかっん顧
 私。てで問
 にタイ走の
 、イたる先
 大ムここ生
 事ばろとに
 なかのが言
 こり私大わ
 と気は事た
 をに、だこ
 思し、しと
 いてんそを
 さたでう思
 せも走い
 てのっえ出

主人公の生き方に対する感想

ほを周じで
 ど放囲さ。彼
 、つのせ速女
 そ生皆ないは
 うきがいか、
 感方惹、ら走
 じをか無とる
 するしれ邪いた
 。てて気っび
 （略）いしなてに
 のう顔取いて
 だ。そてい
 ら。んいく。
 ららなない
 をらはらいつ
 知、だ嫌もの
 っ、自から笑
 ていらら、感
 く光

主人公の生き方とこれまでの自分の生き方を比較する。（内面をしっかり描き、作品のテーマに迫る）

出か最走 と走はらいっ
 ても後つだ十る出はなたし
 きしまだが分姿来こあ。か
 たれでの、知をなん「らし
 。な走だらつもいなとら、
 （略）いり。らてうなにつはそ
 ）た風はい一ん走ぶ、ん
 そいに走た度てりや血な
 うと乗つがと。たく液私
 思願った。、とがらのの
 っつて。強てつらガ期
 てた、歩くもて。ン待
 いら流れ 思切い私には
 られも っなるは倒、
 うにるし たかの胸れす
 ち起よな。っにがたぐ
 にきうい でた、痛のに
 、たに状 き。もくだ消
 涙、。態 ならうな。さ
 が奇そな いら走つた「走り
 あ跡れの このるた。り
 ふなはに と輝こら
 れの、、 だくとら

作品を読んで変わったこと。今後の自分の生き方。

うがが いなて張つ親生
 なら、そう私いつもやき私
 。、らん気。るて気友るは
 すらな持い私いに達喜自
 つのとちつ。るか、び分
 とよきでもや私け先をを
 、う、いいり。、生感振
 背に私つつた小外たじり
 筋なはばもいさ見ち、か
 をれらい、こなだか大え
 伸るらだもとこけららっ
 ばだにっうがとで、かた
 しろ出たすなをもどに。
 てう会。べか、よう生私
 生かっ てなく思きは
 き。た をかつしわて、
 て自の 投でまよれいら
 いらだ げきでうてたら
 らを私 し、引必るろよ
 のちい い機ずにをかに
 よなつ と嫌っ頑い、

（結び）

とうた持見響
 。にとちたい「
 、出は。てき
 ま会、読いや
 っえまむるは
 すてつ前。は
 ぐよたと読は
 前かく変みは
 をっ違わ終「
 見たうらえら
 てと。なたら
 背。私い今の
 筋そは絵、笑
 をしただもい
 伸てらけう声
 ば、にれ一が
 し私言ど度、
 てもい、表胸
 生あたるのっ
 きたない。私ら
 いのあ、ら
 くよな 気をに

川上健一「ららのいた夏」

